ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

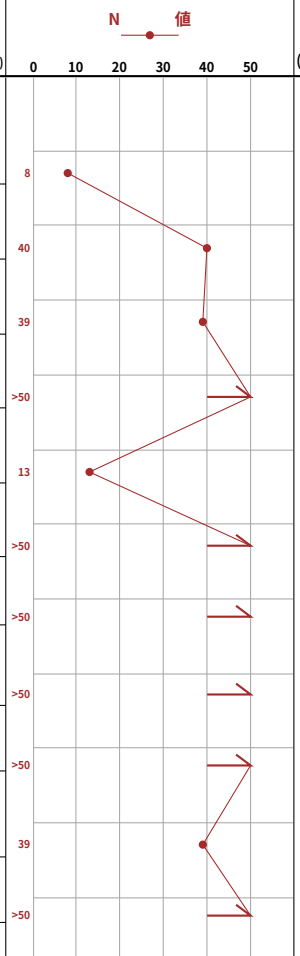
シートNO.

ボーリング名	No.5(測点No.90+5.0)	調査位置				北　緯	36 ° 48 ' 34.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所		調査期間	2008-02-21 ～ 2008-02-22		東　経	140 ° 01 ' 09.0000 "
調査業者名		主任技師	現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	166.24 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °
総掘進長	11.33 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	165.99	0.25	0.25		表土 (SF)	暗褐			農耕土 砂混じりシルト主体		
1	164.99	1.00	1.25		砂礫 (GS)	暗茶灰	緩い		礫はφ2～75mm程度の円礫主体 礫間は粗砂で充填されるが堆積状態はルーズである 所々にφ100～200mm程度の玉石を点在する		02/22 1.25
	164.69	0.30	1.55		シルト質細砂 (FSM)	暗褐灰			シルト多く混じる 部分的に粗砂混じる		
	164.39	0.30	1.85		礫混じり粗砂 (CS-G)	暗褐灰			シルトおよびφ2～30mm程度の円礫混じる		
2					粘土混じり砂礫 (GS-C)	褐灰	密な		礫はφ2～40mm程度の円,亜円,風化礫主体 礫間は粗砂および粘土で充填されている 所々にφ100～150mm程度の玉石が点在する		
3											
4											
5	161.14	3.25	5.10		粘土質粗砂 (CSC)	褐	中ぐらい		全体に粘土分の混入が多い 風化軽石,スコリアが混じる		
	160.54	0.60	5.70		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐灰	非常に密な		礫はφ2～50mm程度の円,亜円,風化礫主体 礫間は砂および粘土で満つに充填されている 所々にφ100～150mm程度の玉石が点在する 8m付近からやや含水多くなる 下部やや暗茶褐色を呈す		
6											
7											
8											
9											
10	156.29	4.25	9.95		粘土質粗砂 (CSC)	褐灰	密な		中粗砂主体 細砂,粘土多く混じる		
	155.59	0.70	10.65		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐灰	非常に密な		礫はφ2～50mm程度の円,亜円,風化礫主体 礫間は砂および粘土で密に充填されている 所々にφ100～150mm程度の玉石が点在する 含水やや多い		
11	154.91	0.68	11.33								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	2	2	8／30	8
1.45					
2.15	14	13	13	40／30	40
2.45					
3.15	13	14	12	39／30	39
3.45					
4.15	17	19	14／9	50／29	>50
4.44					
5.15	4	4	5	13／30	13
5.45					
6.15	13	15	22／8	50／28	>50
6.43					
7.15	24	26		50／20	>50
7.35					
8.15	21	17	12／7	50／27	>50
8.42					
9.15	34	16／6		50／16	>50
9.31					
10.15	10	12	17	39／30	39
10.45					
11.15	29	21／8		50／18	>50
11.33					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/22